



5月10日、葛生あくとプラザなどで「くずうフェスタ2014」が開催されました。

葛の里壱番館で開催された「なわとび大会」には多くの小学生・中学生のチームが参加しました。一番多く飛んだのは「われら葛生小6年1組男子組」。飛ぶ回数が増えるにつれ、会場からも回数を数える大きな掛け声がかかり、125回を飛びました。

葛生あくとプラザでは「烈車戦隊トッキュウジャー」のショーやダイヤモンド☆ユカイさんのライブ・トークショーが行われたほか、さのまるも来場。さのまるの周りには記念写真を求める多くの家族連れの列がありました。

午後7時30分からは花火大会を開催。約8千発の花火が5月の夜空を彩り、訪れた約2万4千人の人々が楽しみました。



## こどもフェスティバル



5月3日から5日にかけて、こどもの国で「こどもフェスティバル in SANO 2014」が開催されました。

初日の3日には「烈車戦隊トッキュウジャーショー」が行われたほか、さのまるが来場。多くのこどもたちがトッキュウジャーやさのまるに駆け寄って握手などをしていました。

4日には小山高専によるロボコンショーが行われたほか、5日には「わんぱくレクリエーション広場」が設けられ、3日間を通じて多くの子どもたちの楽しい笑い声が響きました。

## 第1回石井琢朗杯 選抜中学野球佐野 大会

Town Topics  
まちの話題



初代優勝チーム・志村ボーイズ（東京）

5月10・11・17日の3日間、市運動公園野球場などで、「第1回石井琢朗杯・選抜中学野球佐野大会」が行われました。

この大会は、本市出身の元プロ野球選手、石井琢朗さん（現・広島東洋カープコーチ）の功績を顕彰し、少年野球の育成と交流の促進を図るために開催され、佐野ボーイズをはじめ栃木県内10チームのほか、関東・山梨の計25チームが参加し、3日間にわたりトーナメント方式で争われ、志村ボーイズ（東京）が初代王者となりました。

優勝チームには、石井琢朗さんから寄贈いただいた優勝カップのほか、表彰状、メダル、優勝旗などが授与されました。

## 姉妹都市・ランカスター市（米国） から訪問団が来訪しました



5月13日から19日までの日程で、ランカスター市から総勢19人（生徒16人・引率3人）の訪問団が佐野市に来訪しました。

訪問団は、市内の各ホストファミリーに滞在し、各中学校や市役所などを訪問したほか、茶道や生け花など日本文化を体験しました。

普段とは異なる生活習慣や、文化に戸惑いながらも、日本での7日間を楽しみ、迎えてくれた方々に感謝の言葉を残し、帰国していきました。



校長先生も一緒にまきました



## 犬伏東小学校 「稲作体験活動」

犬伏東小学校では「児童の豊かな体験活動」を目的として、4～6年生が「稲作体験活動」を行っています。

5月7日には、5年生たちが「もみまき」を行いました。班ごとに分かれ、稲作ボランティアの皆さんの手助けを受けながら、土を入れた苗箱にもち米のもみたねをまきました。田植えまでの約1カ月間水をやりながら5年生たちが苗を育てていきます。

猿橋昂汰さんは「土を平らに入れるのが難しかったけど、もみまきは楽しかったです」。また、今野綾音さんは「これから、水やりをがんばります」と、2人とも笑顔で話してくれました。

工業団地に隣接しながらも、目の前にはみかも山、麓には水田地帯が広がる自然環境の中、貴重な体験活動が行われていました。6月上旬、みんなで育てた苗でにぎやかに田植えをする児童の皆さんの姿が目浮かぶようですね。

(市民記者 秋山久美子)

## ねんりんピックのメダルに、 天明鋳物が採用されました



5月7日、県庁で今年行われる第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねんりんピック栃木2014」の開催150日前イベントが行われ、同大会で上位に授与される天明鋳物製の金・銀・銅メダルなどが披露されました。

天明鋳物製のメダルは八角形で、県のマスコットキャラクター「とちまるくん」が描かれています。大会終了の10月7日まで県庁ロビーに展示されます。

同大会は、60歳以上の方を対象とした健康・福祉・生きがいの祭典であり、10月4日から7日の期間、栃木県内20市町で24種目が行われ、全国から約1万人の選手など総勢50万人が参加する一大イベントです。佐野市ではゲートボール交流大会が開催されます。



## 国指定史跡による 記念碑を建立

4月25日、唐沢山レストハウス前駐車場で唐沢山城跡国指定に伴う記念碑除幕式が行われました。この記念碑は、今年3月18日付けの官報にて、唐沢山城跡が国指定史跡となったことで建立されたものです。

唐沢山城跡の面積は約194ha。関東有数の規模であるとともに、織豊系城郭として整備された数少ない山城です。

## 押し花アート展

4月25日～27日、たぬまふるさと館で、ふしぎな花倶楽部主催により開催されました。

16回目となる今回のテーマは「富士山」。世界遺産である名峰富士の姿が、趣向が凝らされた細かい押し花により、思い思いの姿で描かれました。来場者はいろいろな富士を見つめ、改めてその美しさに目を奪われていました。

ふしぎな花倶楽部では、四季折々の草花を押し花にして楽しんでいます。百花繚乱の花びらから、また一つの「押し花」という芸術作品に生まれ変わり、たくさんの人々に感動を与えてくれる「花」はやっぱり素敵ですね。(市民記者 葛貫郁子)

